

## 令和元年度「学生ものづくり・アイデア展」報告

令和元年度は11月30日に富山大学において第17回「学生ものづくり・アイデア展 in 富山」が開催された。この「学生ものづくり・アイデア展」は、富山大学、新潟大学、長崎大学の3大学工学部の学生グループが自主的に製作した作品を発表する場として、平成15年度に開始されたものである。今年度は、富山大学より15チーム、新潟大学より11チーム、長崎大学より2チームの全28チームが参加して成果を競い合った。以下に当日のプログラム概要を示す。

(1) 開会式 (於：多目的ホール) (13:00～13:10)

開会の辞：小熊 規泰（富山大学工学部附属創造工学センター長）

挨拶：曾澤 宣一（富山大学工学部長）

(2) 講演会 (於：多目的ホール) (13:10～14:00)

「アイデアをかたちに —大学院生が考案した結索機—」

喜成 年泰 教授（金沢大学 理工研究域 副研究域長，設計製造技術研究所）

(3) 学生ものづくり・アイデアコンテスト (14:10～16:30)

◎出展作品の概要説明 (於：多目的ホール) (14:10～15:40)

◎パネルによる展示説明 (15:40～16:30)

(於：ロジャ・プロジェクト企画スペース・クリエイションスペース)

(4) 閉会式 (於：多目的ホール) (16:30～17:00)

3大学による講評

長崎大学大学院工学研究科工学教育支援センター長 坂口 大作

新潟大学工学部長 小椋 一夫

富山大学工学部長 曾澤 宣一

学生ものづくり・アイデアコンテストの結果発表および表彰

閉会の辞：富山大学工学部附属創造工学センター長 小熊 規泰

全チームが作品についてプレゼンテーションとポスターセッションを行い、作品の理解を深めてもらおうと展示スペースに訪れた多くの参加者とディスカッションした。

結果として長崎大学の「QRコードによる案内サービス Quest touR の開発」チーム（担当学生：岸本友太さん，和田知也さん，横山瑛士さん，アドバイザー教員：情報工学コース 小林透教授，課題提供企業：株式会社デンソーウェーブ）が最優秀賞を受賞した。このサービスは「スタートからゴールまで誰にでもわかりやすく道案内をする」という目標のもと開発され，スマートフォンでQRコードを読み込むと，写真と地図による道案内を行ってくれる。写真には矢印が表示されるため，次に進む方向が一目でわかり，誰でも使いやすい仕様になっている。また，長崎大学の「熱中症回避アプリの開発 ～熱中症を回避して野球に熱中しよう！～」チーム（担当学生：鬼丸禎史さん，白濱謙弥さん，河邊桜さん，アドバイザー教員：情報工学コース 小林透教授，課題提供機関：野球アカデミー「オンデック長崎」）は，優秀賞を受賞した。年々気温は上昇し熱中症になるリスクが高まっている中で野球部員の熱中症を回避する判断材料としてアプリを開発した。

暑さ指数，飲水量，練習時間から熱中症の危険があると野球部顧問の先生の携帯に通知されるシステムであり，このアプリを利用することで部員の状況を把握しやすくなり，先生の負担を軽減できる。

今回は，本学から参加した2チームすべてが受賞という結果を残したことは，本学学生が制作した作品の質の高さと着想の豊かさを示すものであり，次年度以降の創成プロジェクトの実施に対するモチベーションが高まった。また，富山大学，新潟大学との交流もでき，大変有意義な場となった。



【最優秀賞受賞】「QRコードによる案内サービス Quest touR の開発」チームの様子



【優秀賞受賞】「熱中症回避アプリの開発」チームの様子